



2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月14日

上場会社名 株式会社ジンスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3046 URL https://jinsholdings.com
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田中 仁
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 山脇 幹也 (TEL) 03-5275-7001
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	47,741	14.2	3,990	48.0	3,976	51.0	2,744	—
2020年8月期第3四半期	41,816	△7.1	2,697	△48.4	2,633	△45.0	△15	—

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 3,019百万円(—%) 2020年8月期第3四半期 △138百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	117.61	106.43
2020年8月期第3四半期	△0.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	51,995	19,615	37.7
2020年8月期	53,392	17,763	33.3

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 19,615百万円 2020年8月期 17,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年8月期	—	25.00	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	20.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	7.9	5,700	1.5	5,600	△3.9	3,450	104.5	147.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期3Q	23,980,000株	2020年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	2021年8月期3Q	639,784株	2020年8月期	639,745株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期3Q	23,340,216株	2020年8月期3Q	23,693,677株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年9月1日～2021年5月31日）における国内経済は、1月および4月に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が都市部を中心に発令され、とりわけ4月の発令時には対象地域の大型商業施設では営業自粛を要請されるなど、個人消費を中心に経済に大きく影響が出ておりました。世界経済においては、各国において新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種が進められており、国、地域によって経済の回復状況は異なっているものの、景気の回復傾向が見受けられます。

また、国内眼鏡小売市場（視力矯正眼鏡）は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の影響に関して、前年の方がより厳しい営業自粛要請を伴っていたこともあり、前年比では市場規模はプラスとなっていますが、前々年の水準には至っていない状況であります。

このような市場環境の中で、当社グループのアイウェア事業では、経営課題として掲げている商品ラインアップの多様化及びデジタルトランスフォーメーションの推進などの取り組みを進めてまいりました。国内アイウェア事業においては、店舗で待ち時間なく商品を受け取れる新サービス「CLICK&GO」を開始し、また店舗開発につきましては、都心でのショッピングを避ける傾向も見受けられることから、より生活圏に近い立地への出店を進めるなど、新しい生活様式に対応した取り組みを進めてまいりました。商品開発につきましては、「近視のない世界の実現」に向けた取り組みの一環として、バイオレットライトを用いた近視進行抑制メガネ型医療機器開発の共同プロジェクトを進めており、当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は272百万円となりました。

店舗展開につきましては、当第3四半期連結会計期間末におけるアイウェアショップの店舗数は、国内432店舗、海外214店舗（中国165店舗、台湾37店舗、香港6店舗、米国6店舗）の合計646店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は主に国内アイウェア事業にて前年の全国的な緊急事態宣言発令の影響による営業自粛の反動があったことにより47,741百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益はコンタクトレンズ「JINS 1DAY（ジンズワンデー）」のTVCM等により広告宣伝費の増加があったものの、売上高の伸長により3,990百万円（前年同期比48.0%増）、経常利益は3,976百万円（前年同期比51.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は子会社の清算に伴う税効果の影響により2,744百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失15百万円）となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	構成比	前年同期比増減
国内アイウェア事業	38,114百万円	79.8%	18.9%
海外アイウェア事業	9,626百万円	20.2%	16.4%
合計	47,741百万円	100.0%	14.2%

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 合計の前年同期比増減には雑貨事業から撤退した影響が含まれております。

〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、TVCM等の広告施策を展開したコンタクトレンズ「JINS 1DAY（ジンズワンデー）」の無料お試しキャンペーンが好評だった他、世界中で愛され続けているキャラクター「ポケットモンスター（ポケモン）」をJINSならではの視点でデザインした「JINS ポケモンモデル」が売上を牽引しました。また、エアフレームの最上級モデル「Ultra Light Airframe」をはじめとした高付加価値商品が好調だったこと等による一式単価の上昇により、引き続き売上高総利益率が改善しました。新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、前年の休業による影響と比べると大幅に改善はしているものの、海外渡航者の入国制限が継続していることからインバウンドの売上が大きく減少し、また、1月および4月に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が都市部を中心に再度発令されるなど、とりわけ都心を中心とした繁華街への往来を避ける傾向が続いており、業績への影響を注視しております。

店舗展開につきましては、国内店舗数は432店舗（出店24店舗、退店7店舗）となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高38,114百万円（前年同期比18.9%増）、営業利益3,661百万円（前年同期比25.3%増）となりました。

〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国においては、政府による新型コロナウイルス感染症の対策が功を奏しており、業績は順調に推移しております。

台湾においては、新型コロナウイルス感染症の影響はほとんど見受けられず、業績は順調に推移しておりましたが、足許では新規感染者の発生により個人消費に影響が出始めており、今後の業績への影響を注視しております。

香港においては、政情不安によるデモ騒動の影響は沈静化しつつあり、新型コロナウイルス感染症の影響による消費の低迷からも回復基調にあります。業績はこれにより順調に回復しております。

米国においては、新型コロナウイルス感染症の拡大は緩やかになっているものの、出店しているカリフォルニア州を中心に依然として経済の停滞が続いております。店舗は全店で営業を再開しましたが大幅な入店制限を余儀なくされており、EC販売に注力しております。

店舗展開につきましては、中国165店舗（出店10店舗、退店7店舗）、台湾37店舗（出店7店舗、退店なし）、香港6店舗（出店、退店なし）、米国6店舗（出店1店舗、退店なし）の合計214店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高9,626百万円（前年同期比16.4%増）、営業利益329百万円（前年同期は営業損失26百万円）となりました。

なお、雑貨事業につきましては前連結会計年度末をもって撤退しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2020年8月期末 (2020年8月31日)	当第3四半期連結 会計期間末 (2021年5月31日)	増減	増減率(%)
総資産	53,392	51,995	△1,397	△2.6
負債	35,629	32,379	△3,249	△9.1
純資産	17,763	19,615	1,852	10.4

(イ)資産

流動資産は、33,376百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,728百万円減少いたしました。

これは主に、商品及び製品が882百万円増加したものの、現金及び預金が2,109百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、18,619百万円となり、前連結会計年度末に比べ330百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い建物及び構築物等の有形固定資産が108百万円、敷金及び保証金が83百万円増加したことによるものであります。

以上により、総資産は、51,995百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,397百万円減少いたしました。

(ロ)負債

流動負債は、9,965百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,873百万円減少いたしました。

これは主に、未払法人税等が1,762百万円、1年内返済予定の長期借入金が1,005百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、22,414百万円となり、前連結会計年度末に比べ376百万円減少いたしました。

これは主に、リース債務が160百万円減少したことによるものであります。

以上により、負債合計は、32,379百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,249百万円減少いたしました。

(ハ)純資産

純資産合計は、19,615百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,852百万円増加いたしました。

これは主に、配当金の支払いにより1,167百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益2,744百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期通期の業績予想につきましては、本日(2021年7月14日)発表いたしました「2021年8月期通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,667	22,557
受取手形及び売掛金	4,484	3,943
商品及び製品	4,344	5,226
原材料及び貯蔵品	241	365
その他	1,366	1,282
流動資産合計	35,104	33,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,274	7,498
その他（純額）	1,893	1,777
有形固定資産合計	9,168	9,276
無形固定資産	2,240	2,122
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,317	4,400
その他	2,561	2,818
投資その他の資産合計	6,879	7,219
固定資産合計	18,288	18,619
資産合計	53,392	51,995

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,745	1,550
短期借入金	1,753	2,090
1年内返済予定の長期借入金	1,064	58
未払金及び未払費用	4,296	4,210
賞与引当金	49	69
未払法人税等	2,175	413
資産除去債務	47	—
その他	1,705	1,572
流動負債合計	12,838	9,965
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	20,211	20,154
長期借入金	294	293
資産除去債務	517	526
その他	1,767	1,440
固定負債合計	22,791	22,414
負債合計	35,629	32,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	16,622	18,200
自己株式	△5,002	△5,002
株主資本合計	18,050	19,628
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△287	△13
その他の包括利益累計額合計	△287	△13
純資産合計	17,763	19,615
負債純資産合計	53,392	51,995

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年5月31日)
売上高	41,816	47,741
売上原価	9,246	9,850
売上総利益	32,570	37,890
販売費及び一般管理費	29,873	33,900
営業利益	2,697	3,990
営業外収益		
受取利息	23	63
受取手数料	34	42
受取賃貸料	5	6
為替差益	19	235
還付消費税等	310	—
その他	38	41
営業外収益合計	431	388
営業外費用		
支払利息	129	122
社債発行費	90	—
支払手数料	8	4
不動産賃貸費用	227	251
開業費償却	25	—
その他	11	24
営業外費用合計	494	402
経常利益	2,633	3,976
特別損失		
固定資産除却損	144	28
減損損失	—	209
投資有価証券評価損	40	—
店舗閉鎖損失	49	51
店舗臨時休業による損失	1,155	58
事業撤退損失	484	—
特別損失合計	1,873	348
税金等調整前四半期純利益	760	3,627
法人税、住民税及び事業税	865	1,059
法人税等調整額	△89	△176
法人税等合計	776	882
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15	2,744
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	2,744

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△15	2,744
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△122	274
その他の包括利益合計	△122	274
四半期包括利益	△138	3,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△137	3,019
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

当社は、2020年2月12日開催の取締役会に基づき、自己株式636,100株の取得を行っております。この結果、前第3四半期連結累計期間において、自己株式が4,999百万円増加し、前第3四半期連結会計期間末において自己株式が5,002百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	雑貨事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,056	8,272	1,488	41,816	—	41,816
セグメント間の内部 売上高又は振替高	450	6	—	457	△457	—
計	32,506	8,278	1,488	42,273	△457	41,816
セグメント利益又は損失 (△)	2,921	△26	△197	2,697	—	2,697

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

主として「雑貨事業」セグメントにおいて、事業撤退に係る減損損失79百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,114	9,626	47,741	—	47,741
セグメント間の内部 売上高又は振替高	372	7	380	△380	—
計	38,487	9,633	48,121	△380	47,741
セグメント利益	3,661	329	3,990	—	3,990

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内アイウェア事業」セグメントにおいて、減損損失209百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度末において「雑貨事業」から撤退しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、2020年の年末に向けて状況が改善すると仮定しておりましたが、依然として感染症の影響が長引いております。

今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、当連結会計年度末にかけて状況が改善すると仮定し、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。